

第20回 定時株主総会

2020年6月29日

株式会社 ドリームインキュベータ

(証券コード4310)



免責事項

本資料内に記載された将来の見通しや戦略等は、作成時点において入手可能な情報に基づくものであり、目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、経営環境の変化、投資先企業の業績の悪化、金融商品市場における株価の変動等の要因により実際とは大きく異なる可能性があります。

また、本資料の内容は将来予告なく変更されることがあります。本資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合し、利用者の判断によって行って頂きますようお願い致します。本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

1. 2020年3月期 決算要旨

2. 今後の方向性

決算要旨

<u>決算概況（保険調整後*）</u>		<u>対前年増減額</u>	<u>（参考）保険調整前*</u>
● 連結売上高	225億円	(+18.9億円)	同左
● 経常利益	6.1億円	(▲ 2.8億円)	▲0.2億円
● 当期純利益 (親会社株主帰属)	0.6億円	(▲ 2.9億円)	▲1.9億円

ポイント

- 戦略コンサルティングが復調しつつある（前年同期比売上+17.6%）
- 保険は引き続き、順調（前年同期比売上+22.1%）
- 営業投資は市況悪化の影響を受け、ゲインの減少と減損が発生

2020年3月期 セグメント別P/L

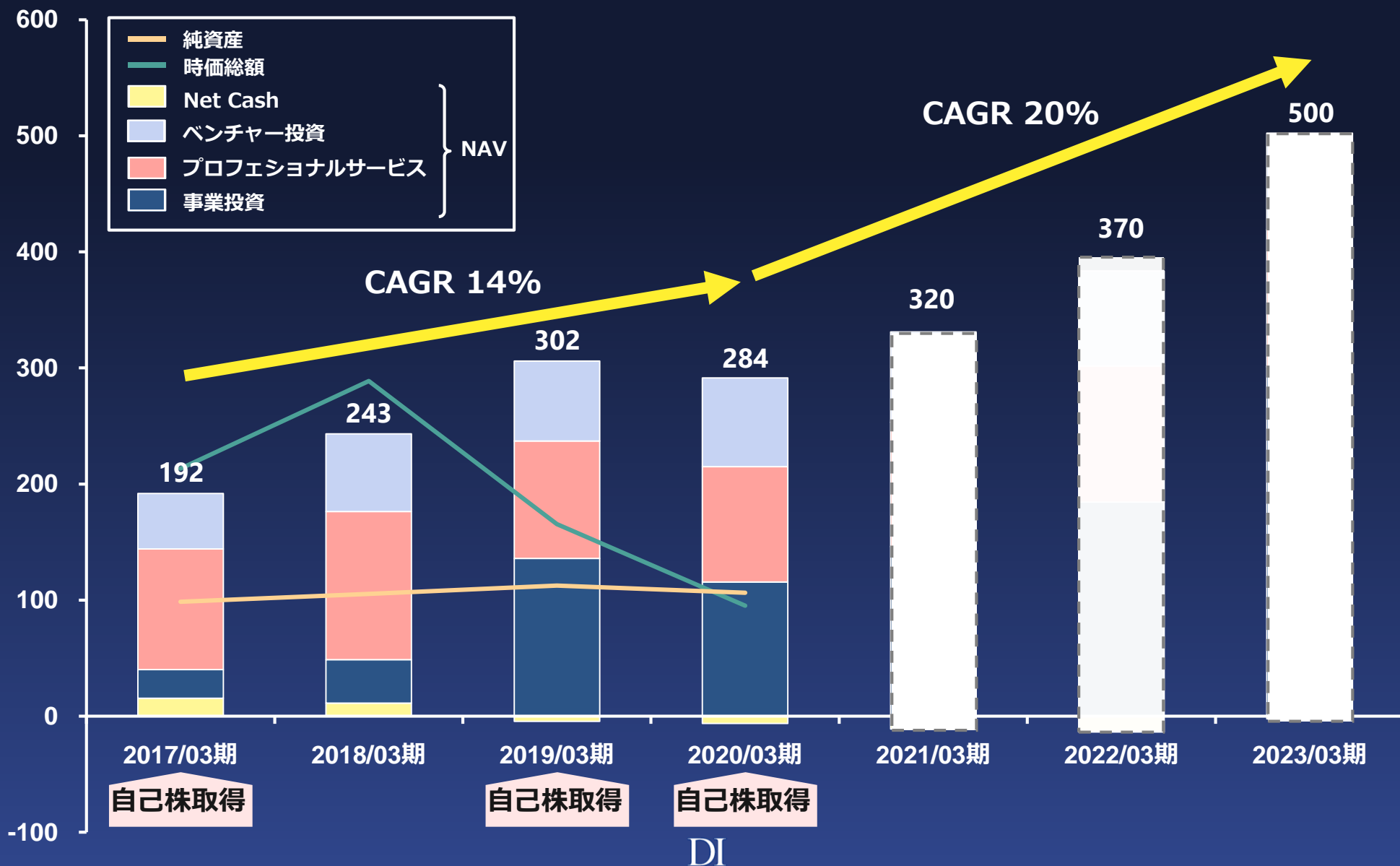
(単位：億円)

		2019年 3月期 通期	2020年 3月期 通期	対前期 増減率
営業投資 セグメント		● 売上高 28.6	8.0	▲72.0%
		● 経常利益 2.2	▲4.0	—
プロフェッショナル サービス セグメント	戦略 コンサルティング	● 売上高 20.7	24.3	17.6%
		● 経常利益 ▲0.2	3.8	—
	DI Asia	● 売上高 4.9	2.5	▲48.5%
		● 経常利益 ▲0.6	▲1.7	—
事業投資	保険 セグメント	● 売上高 148.7	181.5	22.1%
		● 経常利益* 7.9	9.2	16.5%
	その他 セグメント (ワークスタイルラボ)	● 売上高 4.4**	9.6	116.2%
		● 経常利益 ▲0.2**	▲1.2	—

注： 経常利益：セグメント利益－全社費用負担額±営業外損益
* 保険項目調整後
** 半期分

純資産・時価総額・NAV (Net Asset Value) 推移と見通し

(億円)



1. 2020年3月期 決算要旨

2. 今後の方向性

新役員体制（株主総会での承認可決が前提）

株 主



代表取締役CEO
(取締役会議長)
原田 哲郎

代表取締役COO
(ビジネスプロデュース代表)
三宅 孝之

代表取締役COO
(インキュベーション代表)
細野 恭平

機能分担

全社業績・
経営への責任

全社経営統括

最終責任

共同責任

ビジネス推進

時代背景とDIのあり姿（推移）

	2000～	2010～	2020～
時代背景	廃業 > 開業	リーマンショック後遺症	社会的課題の解決 SDGs
DIの ミッション (軸足)	経営資源提供 (ベンチャー)	事業創造支援 (大企業)	
ビジネス モデル	ベンチャー投資 × 戦略コンサルティング	ベンチャー投資 × 戦略コンサルティング × 事業投資	

DI = The Business Producing Company

Mission : **社会を変える 事業を創る。**

Vision : **挑戦者が一番会いたい人になる。**

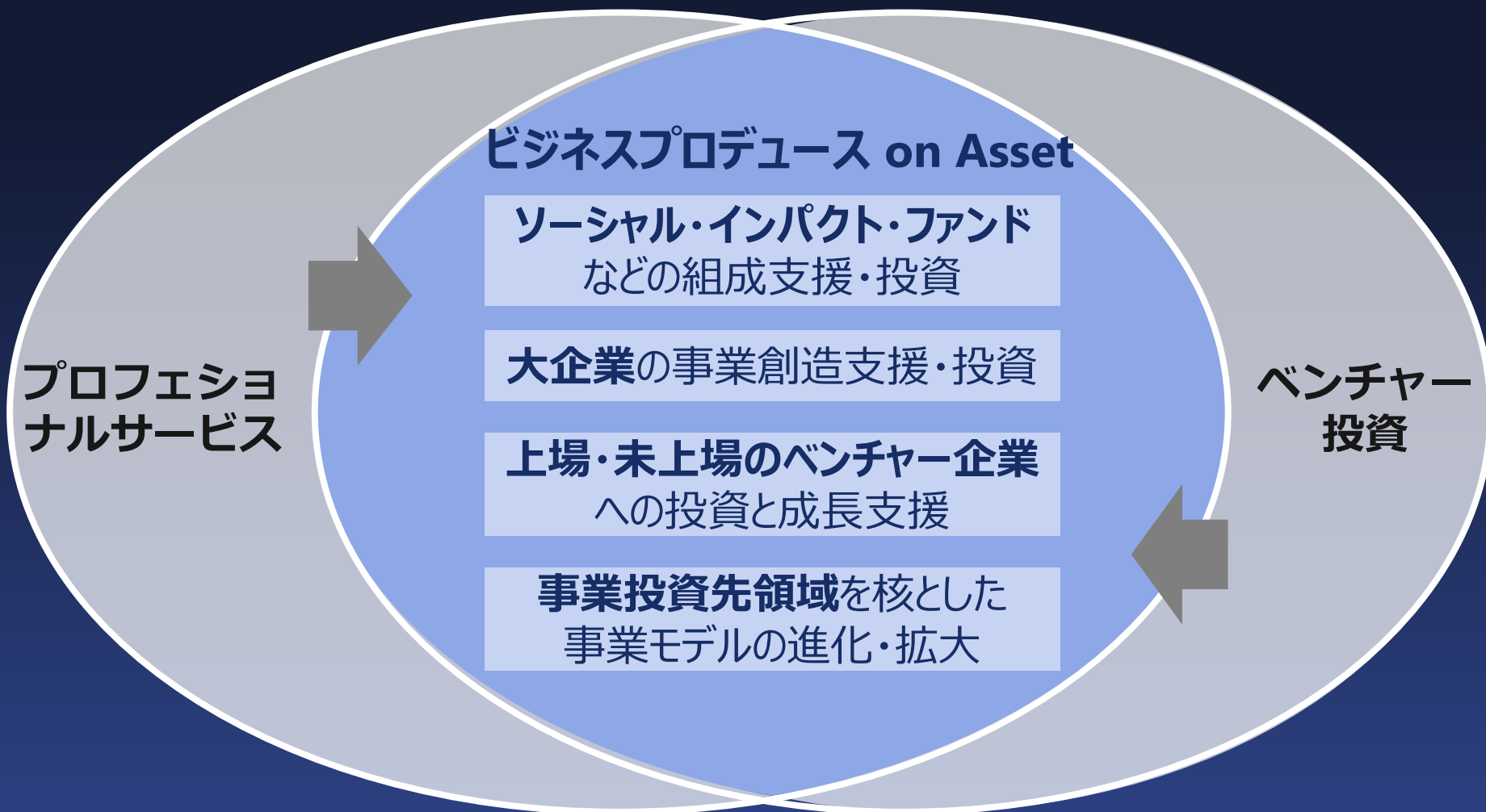
Value : **枠を超える。**

- 領域の **枠を超えて** 構想する。
- 常識の **枠を超えて** 戦略を立てる。
- 組織の **枠を超えて** 仲間を集める。
- 自分の **枠を超えて** 挑戦する。

重点取組

ビジネスプロデュース

インキュベーション



社会課題から事業創造への取り組み事例（リリース抜粋）

豊田市と社会課題を解決するための新たな官民連携の仕組みである
ソーシャル・インパクトボンドに関する覚書を締結（2020/2/25）

前橋市と社会課題を解決するための新たな官民連携の仕組みである
ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）の導入に向けた検討を開始（2020/5/8）

独立行政法人国際協力機構（JICA）より「全世界起業家・中小企業育成のための
官民基金連携に係る基礎情報収集・確認調査」を受託（2020/4/17）

ドリームインキュベータと日本政策投資銀行（DBJ）が共同で、
ソーシャル・インパクト・ボンドを活用した持続的な社会課題解決に向けた仕組み
作りの検討を開始（2020/6/10）

- DIとDBJの両者が持つ知見・ネットワークを共用・活用し、国、行政、サービス事業者、金融機関等各プレイヤーを巻き込み、SIBを活用した仕組み作りを進め、将来的な投資規模は1,000億円を目指し、社会課題解決に大きなインパクトのある取り組みの実現を進めて参ります。

新たに招聘した顧問

嶋田 隆 氏



前経済産業省事務次官
経済産業省顧問（現職）

森本 英香 氏



前環境省事務次官

経営全般への助言および大きな社会課題を解決する、
事業創造プロデュースの更なる加速

- 一、人々の役に立つ
(事業に存在理由がある)
- 二、利益を創出する
(事業が付加価値を生む)
- 三、成長する
(事業が社会的影響を持つ)
- 四、分かち合う
(事業が社会に調和する)

Dream Incubator Inc.